

東北地方 3 か月予報

(9 月から 1 1 月までの天候見通し)

平成 2 2 年 8 月 2 5 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 3 か月の天候 >

向こう 3 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
この期間の平均気温は、高い確率が 5 0 % です。

9 月 東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。残暑が厳しい見込みです。
気温は、高い確率が 5 0 % です。

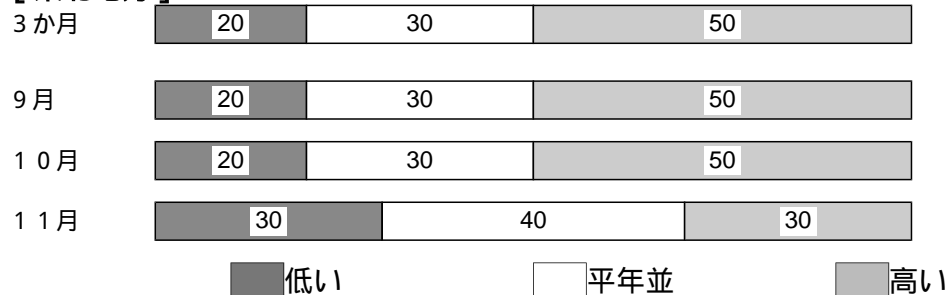
1 0 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。
気温は、高い確率が 5 0 % です。

1 1 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

< 向こう 3 か月の気温、降水量の各階級の確率 (%) >

< 気温 >

[東北地方]

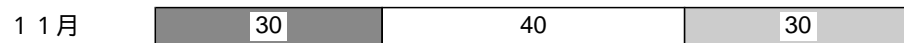





< < 降水量 > >

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



 少ない  平年並  多い

< 次回発表予定等 >

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月27日

3 か月予報：9月22日（水） 14時

寒候期予報：9月22日（水） 14時

9月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温 ()				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	9月	10月	11月	9月～11月	9月	10月	11月	9月～11月	9月	10月	11月	9月～11月
青森	18.9	12.6	6.4	12.6	119.8	106.0	131.7	357.5	160.0	152.9	91.4	404.2
深浦	19.1	13.3	7.5	13.3	176.0	165.6	147.2	488.7	155.4	135.3	71.4	362.1
むつ	18.0	12.2	6.3	12.1	172.7	115.4	115.4	403.5	144.4	159.9	106.5	410.8
八戸	18.6	12.7	6.6	12.7	167.7	77.0	61.2	306.0	144.1	163.1	136.5	443.7
秋田	19.9	13.6	7.6	13.7	177.9	160.7	183.5	522.1	154.9	148.1	84.7	387.7
盛岡	18.3	11.8	5.7	11.9	157.5	97.8	93.1	348.4	123.7	149.0	118.8	391.4
大船渡	19.3	13.8	8.2	13.8	218.7	142.3	104.5	465.4	119.1	146.9	139.5	405.6
宮古	18.6	13.1	7.7	13.1	229.4	105.7	85.6	426.7	123.0	155.8	146.3	425.1
仙台	20.4	14.8	9.1	14.8	218.4	99.2	66.8	384.3	119.8	151.8	140.2	411.8
石巻	19.9	14.2	8.3	14.1	163.1	104.1	65.1	332.3	134.0	159.7	149.3	443.0
山形	19.7	13.2	7.2	13.4	134.3	76.0	80.8	291.1	125.6	131.1	99.6	356.3
新庄	19.0	12.3	6.2	12.5	153.0	151.9	195.4	500.3	112.3	103.6	62.1	278.0
酒田	20.5	14.7	9.0	14.7	185.4	173.7	223.9	584.3	149.6	143.1	80.4	373.1
福島	20.7	14.8	9.0	14.8	169.2	95.3	63.4	327.8	112.6	139.3	130.6	382.5
若松	19.9	13.2	7.0	13.4	134.0	77.6	73.3	284.8	125.2	119.9	88.3	333.4
白河	19.1	13.2	7.6	13.3	215.9	111.9	65.0	392.9	111.3	144.2	146.4	402.0
小名浜	21.3	16.1	10.8	16.0	205.8	153.1	87.7	446.6	135.5	155.3	160.2	451.0

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	9月	10月	11月	9月～11月
気温平年差()	東北地方	-0.5 ～ +0.2	-0.6 ～ +0.3	-0.3 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.4
	東北日本海側	-0.5 ～ +0.3	-0.6 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.5	-0.4 ～ +0.4
	東北太平洋側	-0.4 ～ +0.3	-0.4 ～ +0.3	-0.3 ～ +0.6	-0.2 ～ +0.4
降水量平年比(%)	東北地方	86 ～ 110	83 ～ 105	80 ～ 107	95 ～ 107
	東北日本海側	83 ～ 108	88 ～ 107	92 ～ 103	93 ～ 111
	東北太平洋側	87 ～ 112	63 ～ 113	68 ～ 111	93 ～ 108
日照時間平年比(%)	東北地方	97 ～ 106	97 ～ 103	96 ～ 106	98 ～ 102
	東北日本海側	99 ～ 108	97 ～ 101	95 ～ 106	96 ～ 103
	東北太平洋側	97 ～ 106	99 ～ 106	95 ～ 105	98 ～ 103

（３）接近する台風の平年値

	9月	10月	11月
東北地方	0.8	0.3	0.0

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方 3 か月予報解説資料 (9～11 月)

平成 22 年 8 月 25 日 仙台管区气象台

1. 向こう 3 か月の確率予報の特徴

	気温	降水量
9～11 月：	高い確率が 50%	各階級の確率の偏りは小さい
9 月：	高い確率が 50%	各階級の確率の偏りは小さい
10 月：	高い確率が 50%	各階級の確率の偏りは小さい
11 月：	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい

2. 数値予報（アンサンブル予報）による海洋と大気の流れの予想

数値予報による海面水温偏差の予想(右上図)では、中～東部太平洋赤道域は負偏差で、ラニーニャ現象がこの夏から発生し持続すると見られる。インド洋赤道域の正偏差は小さくなりつつある。

熱帯の降水量の予想(図略)では、アラビア海から南シナ海にかけてのアジアモンスーン域で対流活動が平年より活発となる。これに対応して、チベット高気圧は平年に比べ勢力の衰えが弱く、その北縁に位置する亜熱帯ジェット気流は日本付近で平年より北を流れる。それに伴って、500hPa 高度(右中図)は日本付近で今予報期間前半を中心に正偏差が予想され、高温となる可能性が大きい。これらはラニーニャ現象時の特徴とおおむね一致する。

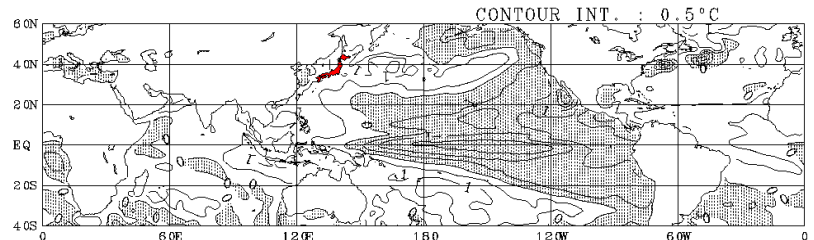
海面気圧予想図(右下図)では、北太平洋を中心に正偏差となり、太平洋高気圧の後退が遅くなる傾向と予想され、日本付近には南から暖かく湿った空気が入りやすい。

月別の海面気圧予想図(図略)などからは、

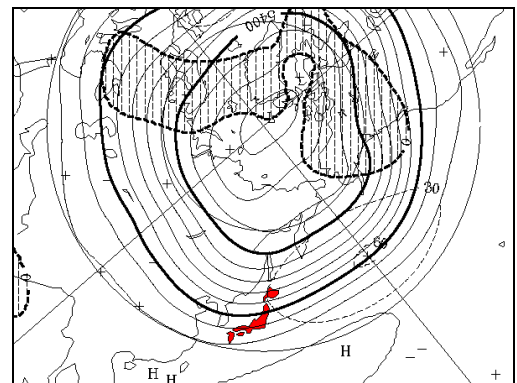
9 月：低気圧や前線の影響を受け、平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想される。残暑が厳しい見込み。

10 月：天気は数日の周期で変わると予想される。日本の南岸は負偏差となっており、東北太平洋側では前線の影響を受けやすい見込み。

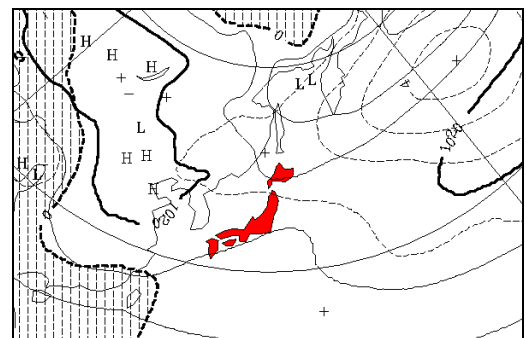
11 月：天気は数日の周期で変わると予想される。500hPa 高度では日本付近に負偏差が予想されており、寒気の流れ込みやすい時期も見込まれる。



3 か月平均の海面水温偏差の予想図
等値線は 0.5℃ 毎。陰影部は負偏差



3 か月平均の 500hPa 高度と偏差の予想図
実線は等高線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎
陰影部は負偏差（一般に寒気に対応）



3 か月平均の海面気圧と偏差の予想図
実線は等圧線 4hPa 毎、点線は偏差 1hPa 毎。
陰影部は負偏差

<参考資料>

平年の天気出現日数（日）

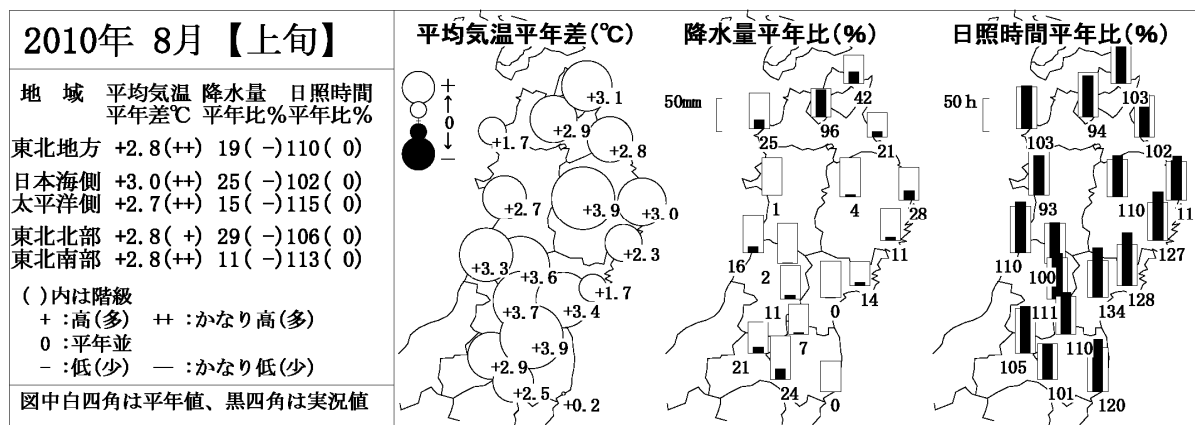
	9 月		10 月		11 月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	14.3	13.2	14.8	17.6	9.2	17.7
雨の日	12.5	12.0	13.0	8.8	15.8	8.1

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率 40% 以上の日数」、「日降水量 1mm 以上の日数」を用いている。

3. 最近の天候経過

8月上旬：この期間、高気圧におおわれ概ね晴れたが、期間のはじめは気圧の谷や前線の影響で曇りとなり、雨の降ったところがあった。気温は、南から暖かい空気が流れ込んでいることや、晴れた日が続いたため、かなりの高温となった。なお、大気の状態が不安定で局地的大雨となったところがあり、2日は福島県で浸水害が発生し、9日は青森県と秋田県で土砂災害や浸水害などが発生した。

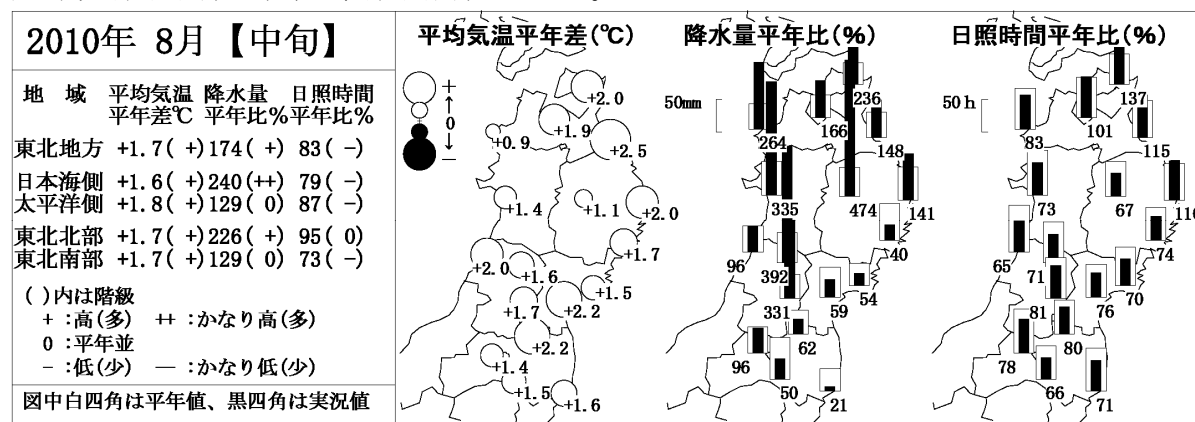
平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北地方で平年並。



東北地方における8月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差(比)

8月中旬：この期間、低気圧や前線、台風の影響で曇りや雨の日が多かったが、期間の後半は高気圧におおわれて晴れた日があった。なお、11日から12日は、台風第4号の影響で東北北部を中心に大雨となり、浸水害や土砂災害が発生した。また、14日から15日及び17日は、低気圧や前線の影響で東北日本海側を中心に大雨となり、秋田県や岩手県で洪水害や浸水害、土砂災害などが発生した。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。

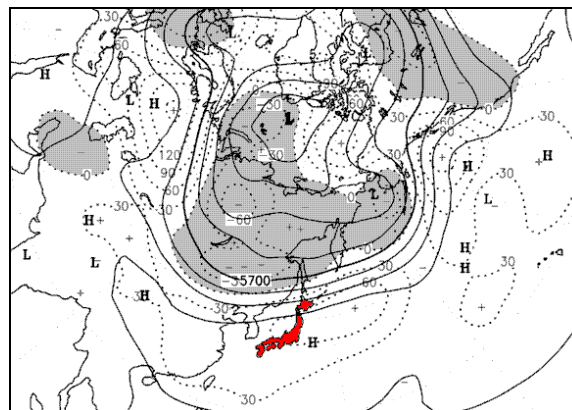


東北地方における8月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差(比)

4. 今月の循環場の特徴

8月(20日まで)：500hPa 高度は、日本付近は日本のはるか東を中心とする正偏差におおわれた。一方、日本の北は東西に広く負偏差となり、北海道付近は等高度線の間隔が狭くなった。

東北地方は高温となったが、北海道付近を低気圧が通りやすい時期があり、東北日本海側を中心に大雨となった日があった。



8月1日～20日の平均500hPa 高度

実線は等高度線60m 毎、点線は偏差30m 毎、陰影部は負偏差